

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会
機械工学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）
議事要旨

日時 平成31年4月12日（金）13:00-14:30
会場 日本学術会議 5階5-B会議室
出席者 相澤委員，大島委員，金子委員，但野委員，菱田委員，福山委員，
藤井委員
事務局 犬塚参事官、高谷審議専門職、大澤審議専門職付

配布資料

- 資料1 第1回評価小分科会での確認事項
 - 資料2 マスタープラン2020策定に関わる利益相反排除の方針
 - 資料3 学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて
 - 資料4 評価小分科会及び委員の役割
 - 資料5 マスタープラン2017において重点大型研究計画に選定された区分Iの研究計画で、継続条件を満たしかつ継続を希望する研究計画の継続審査について
 - 資料6 区分IIの研究計画の適否のチェックについて
 - 資料7 機械工学分野の応募提案一覧【非公開資料】
-
- 参考1 小分科会委員名簿
 - 参考2 第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
 - 参考3 公募要領
 - 参考4 学術研究領域コード表

議 題

議事に先立ち、事務局により、出席者の確認が行われ、小委員会の成立が確認された。続いて、委員の自己紹介が行われた。

その後研究計画・研究資金検討分科会（親委員会）の委員でもある相澤委員から本小委員会の位置づけが説明された。

1) 役員の選任について

互選により、委員長として菱田委員が、副委員長として金子委員が、幹事として藤井委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。

なお、議事要旨については各委員で内容確認後、委員長に一任するこ

と、また、委員間でメールアドレスを共有することが承認された。

2) 利益相反について考え方の確認

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある相澤委員より、審査における利益相反についての考え方の説明があった。

3) 評価小分科会における審議事項等

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある相澤委員より、資料について説明があった。その後質疑応答が行われた。

関連して、3種類の対象課題について説明があった。

4) 取りまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1）を選択した提案を除く）の順位づけ及び応募提案（区分Ⅱ）のコメント案のとりまとめの審議の方法を、委員長一任とすることとした。

また、副分野として、本小分科会の担当する分野を指定されている提案について、副分野での評価を依頼するか議論し、依頼しないこととした。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

文責 藤井孝藏